

## 学校経営のキーポイント

### 1 管理職は、教育の専門家として自己教育哲学を基盤に魅力的な教育目標の提示

- ① 子どもたちの実態把握と子ども・保護者の「学校教育への期待内容」を正確に認識する。
- ② 県・市町村教育委員会の教育施策を考慮しつつ、旧来の流れに固執せずに時代の動向を視野に入れた魅力ある「きらめいた構想」を企画・実践して広報する。**(マスコミを外部評価と認識)**
- ③ 教育の基盤は「教師力」と捉え、説明責任のとれる『研究と研鑽』の大切さを伝授する。

### 2 管理職としての資質と能力

- ① 真のリーダーシップはトップダウンの形からは誕生しない。学校ではフォーマルな教育関連の会話だけでなく、普段のコミュニケーションこそ教職員が連帯して教育目標の達成に向かう意欲を喚起する。円滑な教育活動が展開できる「**チーム学校づくり(学校力)**」を心掛ける。
- ② 学校経営では、保護者や外部に対して透明性の確保を図ることは勿論、教職員が一丸となって実践する特色ある学校づくりのすべての分野に管理職が「説明責任をとる姿勢」で臨む。
- ③ 問題発生時だけでなく、普段から県及び地域の教育関係機関や関係諸団体・機関との連携(ネットワーク化)を図り、安全教育・指導の再吟味を行い、「危機管理意識」を高め保持する。  
**※教職員に記録を残す強い指導 ⇔ 教職員、生徒を助けるのは実践記録である。**

